

令和7年度第1回 様似町地域公共交通会議 開催結果

- (1) 日 時 令和7年5月19日(月) 13:30~14:10
- (2) 場 所 様似町役場 大会議室
- (3) 出席委員 木下 行宏 会長(様似町副町長)
高山 禄英 委員(ジェイ・アール北海道バス(株)様似営業所長)
熊谷 勝 委員(日交ハイヤー(株)専務取締役)
藤田 迪子 委員(住民又は利用者の代表)
佐々木崇史 委員(室蘭運輸支局 首席運輸企画専門官)
木下 健一 委員(様似町社会福祉協議会事務局長)
- (4) 報告事項 令和6年度さまに乗合ワゴンの利用実績について

会議概要

*事務局より報告事項について説明した後、各委員から質問・意見をいただいた。

(藤田委員) 私自身、買い物や病院、歯医者に行く時などに、この乗合ワゴンを利用させてもらっています。さまにシルバー券自体は何年か前からあったはずで、最初は日帰り入浴でしか使えなくて、何回かしか使わず、ほとんど捨てていました。でもこの乗合ワゴンを町でやってくれたことで買い物や病院などで使わせてもらっています。

私自身、地区の老人クラブに入っていて、周りの人から「乗る時は工藤商店まで行かないとダメなのか」、「帰りはどうすれば良いのか」など色々と聞かれる時があって、わかることは答えています。やっぱり役場の人に老人クラブの集まりに来てもらって、直接説明してもらえると大変ありがたいです。

(会長) 「さまにシルバー券」は、町内の70歳以上を対象に、アポイ山荘の日帰り入浴に使用できる券として、年間で2万4千円(48回)分を交付していたんですが、利用できるのが「入浴」だけではということで、その後ハイヤーにも使えるようにして、現在はこの乗合ワゴンでも使えるようになっています。

シルバー券の利用で言いますと、令和6年度は約79%がアポイ山荘での入浴に使用されて、ハイヤーでは約18%、乗合ワゴンでは約3%の割合で使用されました。

- (藤田委員) お年寄りなので、乗り方とか帰りはどうしたら良いかなど、不安があって電話できないというのが理由みたいです。
- (熊谷委員) 最近は、帰りだけ利用するパターンも出てきていて、行く時はバスなどで行って、帰りは乗合ワゴンを利用するなど、上手く使い分けてくれているようです。
- (藤田委員) 私も使い過ぎるので、最近は、行きはバスで行って、買い物をすると荷物があるので、帰りだけ乗合ワゴンを利用させてもらうこともあります。
- (会長) 乗降場所で増やした方が良い場所はありますか？
- (藤田委員) お友達のお家など、個人宅に行く時には使えないんでしょうか。
- (会長) 究極はそうできれば良いんですが、今はハイヤーがあるのでそれは難しく、このすみ分けは必要だと思っています。
JRバスさんの方では、目に見える影響というのはありますか。
- (高山委員) もともとの乗客数が多くはないので、目に見える影響というのはありませんが、はっきりとはわかりませんが、後半に少し乗りが落ちたかなというのはあります。
乗られる方というのは年間通して定期的に乗られる方が多いので、毎年同じような数字できていたんですが、その部分で少し落ちたかなという感じはしています。
- (会長) 日交ハイヤーさんの方で、予約の取り方とかで何かトラブルになったことはありますか。
- (熊谷委員) 土日とかの場合も留守電に入れてくれているので、折り返し連絡で対応できているので問題なくできています。
- (会長) 社協事務局長は、町内の反応などいかがでしょうか。
- (木下委員) 結果としてはやって良かったと思っています。
ただ、地区別で見たときに、鶯苫地区が意外と少なかったなと感じて、車を持っているせいもあるんでしょうか。
- (熊谷委員) 鶯苫の利用者は、病院とアポイ山荘への入浴だけで、他には使われていません。

ただ、免許返納が進んでくると、これから利用する人が出てくるのかなと思っています。

(木下委員) 当日予約というのはどうなのでしょう。

(熊谷委員) 当日予約をやって失敗している市町村も多くて、病院に行く場合なども行きたい時間はだいたい同じですし、1台だと回り切れなくなってしまいますのでだめなんです。

(会長) 1年間実施した結果ですけれども、下半期から利用が伸びてきているという状況で、今年度も進めてまいりたいと思います。

最後に、その他としまして、ざっくばらんに何かあればなと思いますが、事務局の方で、今後、乗り降りできる場所を増やす予定はありますか。

(事務局) 今まで通り、直接利用者の方々やドライバーさんを通して要望をいただいた場合はその都度検討したいと思っていますが、昨年11月に10カ所に改定しまして、それらの場所が妥当なところなのかと思っています。

あと、個人宅に関しては、ハイヤーとの関係もありますので、ご要望にお応えするのは難しい部分がありますが、「こういう場所も追加してほしい」というところがありましたら、検討させていただいて、追加していきたいと考えています。

(高山委員) 支払方法において現金の利用者がいますが、お年寄りが多いのでしょうか。

(熊谷委員) これに関してはアポイ山荘に行く人で、年齢的にはお年寄りだけどシルバー券の交付対象にはなっていない人がほとんどです。

アポイ山荘でも毎週月・木で無料バスが出ていますが、それ以外でお風呂に行きたい人が利用されています。

(会長) 室蘭運輸局さん、いかがでしょうか。

(佐々木委員) 1年間通して運行できて良かったんじゃないかなとお話を聞いていて思いました。

ただ、これが良かったのか、悪かったのか。悪かった場合は何が悪くてどうしていくのか、ということを経括すべきかなと思います。

それは、JRバスさんへの影響だったり、日交ハイヤーさんへの影

響も含めて、一回まとめて、今後どうしていくのかというステップをちゃんと踏んでいって、次年度に向けて更なる取り組みの進化をしていければ良いのかなと思います。

それと、皆さん仰っていた通り、“すみ分け”はすごく大事だと思います。実はタクシーって一度無くなったら二度と出て来ないもので、セーフティネットです。タクシーが動かなくなったら、本当に困った時に困るんです。だから残さなきゃいけないですし、バスはバスで「幹」の部分がなくなってしまったら「浦河行く時どうするの」という話しになってしまうので、それはそれで生かさなきゃいけない。

それらを踏まえて、この乗合ワゴンをどう発展させていくかというのをご検討いただければ良いのかなと思いますし、私たちは他の地域も見ていますので、少なからずお伝え出来る事があると思いますので、上手く使っていただければなと思います。

(会 長) 今回の結果を踏まえて、評価というものを作成して皆さんにお示しできればと思いますので、よろしくお願いいたします。

その他特になければ、以上で会議を終了いたします。

本日はありがとうございました。